



学会ジャーナルのプロモーション 活動：報告とこれから

公益社団法人化学工学会
山下 和子

2012/7/25第3回SPARC Japanセミナー





内容

- 化学系ジャーナル合同プロモーションとは
 - 日本動物学会、日本数学会のプロモーション活動の紹介
 - プロモーション活動の重要性
 - これからの展開
- 
- 



化学系合同プロモーションとは(1)

- 2007年にSPARC Japanの支援で開始
(6学会、7ジャーナルが参加)
- 国際会議の展示会場にブースを出展
- 北米・ヨーロッパ・アジアで展開
- 国内の国際会議でも
- 毎年、継続して開催
- 2012年は9学会11ジャーナルが参加





化学系合同プロモーションとは(2)

- 目的
 - 海外の研究者に、日本のジャーナルの認知度を上げ、良い論文の投稿を促す
 - 複数誌でブースを出すことによる相乗効果
 - 海外の出版社および学会出版の動向をつかむ
 - 対象者
 - 国際会議に参加する研究者
- 



NII



化学系合同PR参加ジャーナル

- Advanced Powder Technology (粉体工学会)
- Analytical Sciences (日本分析化学会)
- Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry (日本農芸化学会)
- Bulletin of the Chemical Society of Japan (日本化学会)
- The Chemical Record (日本化学会)
- Chemistry Letters (日本化学会)
- Journal of Bioscience and Bioengineering (日本生物工学会)
- Journal of Chemical Engineering of Japan (化学工学会)
- Materials Transactions (日本金属学会)
- Polymer Journal (高分子学会)
- Trends in Glycoscience and Glycotechnology (FCCA)





参加した国際会議

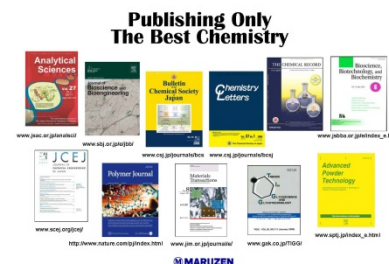
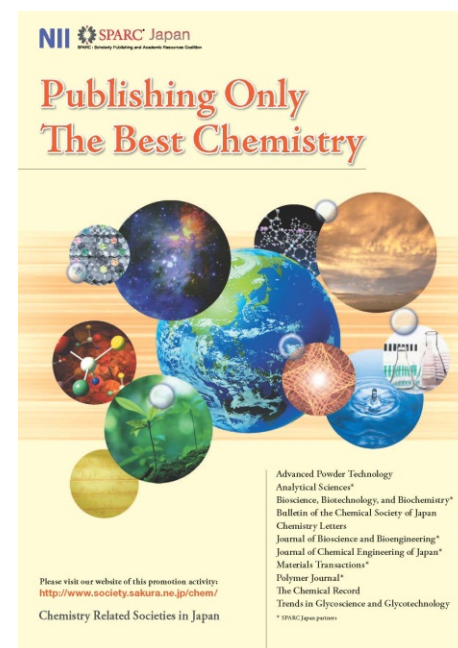
- American Chemical Society秋季大会(毎年)
 - 中国化学会年会(隔年)
 - Asian Chemical Congress(隔年)
 - Congress of the European Association for Chemical and Molecular Sciences(隔年)
 - IUPAC (International Union of Pure and Applied Chemistry) Congress(隔年)
 - その他
- 
- 

会場の様子



会場で展示・配布するもの

- 見本誌
- 参加ジャーナルの合同カタログ
- 各ジャーナルのチラシ
- ジャーナルデータ
- ノベルティグッズ
- SPARC Japanカタログ
- アンケート





会場での質問事項

- 日本のジャーナルの情報
 - インパクトファクターは？
 - 投稿の方法は？
 - 掲載料金は？
 - 審査期間は？
 - 投稿の資格は？
 - 会員になるには？
 - 論文誌がカバーする分野は？
- 
- 



日本動物学会のプロモーション

- The Society for Integrative and Comparative Biology Annual Meeting
2010,2011年に、SPARCの支援で出展
- UniBio Press 6誌をプロモーション

日本哺乳動物卵子学会/日本爬虫両生類学会
日本哺乳動物学会/日本鳥学会/日本古生物学会/日本動物学会





会場での反応

- 日本には自分が扱っている特殊な生物(まむし)がいるので、たくさんの論文を読みたいのだが、多くは、日本語で書かれていて、読むことができない。しかし、このジャーナルは大きな拠り所だ。英語で書かれているから。
- 日本の学術誌という特別な意識はないが、ここにあるジャーナルは知らない。

「SICBの年次大会に参加して」 SPARC News Letter No.5, 2010年5月 永井裕子より、抜粋







日本数学会のプロモーション(1)

2010

International Congress of Mathematicians [ICM]

Hyderabad, India

期間: 2010年8月19日～8月27日(9日間)

参加人数: 約3,000人

展示物: 参加ジャーナルの見本誌(100冊)

数種類のカatalog・ポスター

数学的オブジェ(ペンタゴン)

配布物: エコバック・団扇などのノベルティグッズ、パンフレット等

成果: 英・仏・韓・その他の数学会との交流、意見交換

日本発ジャーナルのアピール



日本数学会のプロモーション(2)





数学会のプロモーション(3)

参加誌 APARC選定誌8誌 + 3誌

- Tohoku Mathematical Journal (東北大学)
 - Kodai Mathematical Journal (東京工業大学)
 - Nagoya Mathematical Journal (名古屋大学)
 - Proceedings of the Japan Academy, Series A:
Mathematical Sciences (日本学士院)
 - Osaka Journal of Mathematics (大阪大学・大阪市立大学)
 - Hiroshima Mathematical Journal (広島大学)
 - Journal of the Mathematical Society of Japan (日本数学会)
 - Publications of the Research Institute for Mathematical Sciences
(京都大学数理解析研究所)
- 

数学会のプロモーション(4)

- Journal of Mathematical Sciences (東京大学)
- Kyoto Journal of Mathematics (京都大学)
- Tokyo Journal of Mathematics (中央大・学習院大・慶大・明大・上智大・東海大・東京首都大・津田塾大・早大)



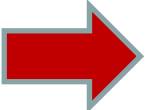


プロモーション活動の重要性(1)

- なぜ、プロモーション？
 - 日本の学会ジャーナルの存在の認知
 - 海外の著者へのアピール
 - 良い論文を掲載する努力
 - 海外の研究者の声を直接聞く
 - 海外の学会、出版社との情報交換
 - 出版動向の把握



プロモーション活動の重要性(2)

- プロモーションの成果は？
 - 海外の出版社は大きなブースで積極的にPR→PRを継続的しないと差が開く一方
 - 継続的にPRを続けることによるプレゼンスの向上
 - 研究者に直接アピールできる
-  数値化できる効果はすぐには得られない
-  プロモーション参加学会の情報交換



新たな取り組み

- 化学系、数学系、生物系、医学系などのジャーナルの連携したプロモーション活動
 - 複数学会で取り組むことによるノウハウ共有
 - 情報と労力の集約
 - 参加学会間の情報交換
 - 海外のエディタのためのセミナーに参加
 - セミナーの参加者が得た知識、知見の共有
 - 海外の学会出版担当者との交流
- 
- 



ご清聴ありがとうございました

化学工学会 山下和子
yamashita@scej.org